

令和元年度実施
沖縄県教育委員会職員（船員等）採用選考試験 受験願書等作成要領

記入・記入全般

- 1 記入に際しては、受験者本人が黒のボールペンを用い楷書で記入すること。
- 2 書き間違えた場合は、二重線で消し、そばに訂正したものを記入すること。
- 3 太枠欄は、もれなく記入・選択・記入すること。
- 4 各項目とも特に記載する事柄がなければ、空欄のままにせず、「特記事項なし」または「特になし」と記入するか斜線を引くこと。

【 受験願書 No. 1 】

1 試験区分

- ア 試験区分欄は、該当する項目の欄に○を1つ選択すること。
- イ 受験願書受理後の試験区分の変更は認めない。

2 氏名・住所・連絡先

- ア 「現住所」及び帰省先等住所がアパートや下宿の場合は、「○○アパート○号室」や「○○方」とアパート名や下宿先も省略せずに記入すること。
- イ 「受験票等送付先」は、受験票及び合格通知送付先を記入すること。現住所と同じ場合は「同上」と記入すること。
- ウ 印刷後、写真は裏面に氏名を記入し、「受験願書」の所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ること。デジタル写真については、画像が鮮明で写真用紙に印刷したものとする。カラーコピー等は不可とする。
- エ 「Eメール」の欄は、願書の記載内容等の確認のために用いることがある。以下のホスト名（@（アットマーク）以下のアドレス）を受信できるようにしておくこと。

ホスト名：pref.okinawa.lg.jp

3 学 歴

- ア 最終学歴等の欄は、学校名、学部、学科・課程、専攻・専修等の正式名称を正確に記入すること。（大学等の通信課程を卒業した者も同様）
※最終学歴とは、上位の学校をさす。（例：短大卒業後、資格取得のため専修学校を卒業した場合は、最終学歴は短大名を記入すること。）
- イ 「国立・公立・私立」、「短大・大学・大学院」のそれぞれに該当する名称を選択し、該当するものがない場合は「その他」を選択すること。

4 免許・資格等

- ア 「海技士免許」下段の（取得済・見込み・なし）の該当項目を○で囲むこと。
- イ 海技士免許状を所持している者は、選択肢のある（ ）は、該当項目を○で囲み、右端の（ ）には数字を記入し、取得（見込）年月を記入すること。
- ウ その他船舶に関する免許・資格を所持している場合は、枠内に記入すること。

5 署名欄

- ア 【受験願書の下欄】署名欄の年月日は、願書の記載が全て完了し点検も終えた日とする。

【 受験願書 No. 2 】

6 職 歴

- ア 職歴欄は今までの勤務上の経験（自家営業も含む）を新しいものから記入すること。
記入欄に入らない場合は、新しいものを優先し、入る分まで記入すること。
- イ 職歴がない場合は、「○○在学中」や「無職」または「在宅」等と記入すること。
- ウ 職歴欄は、アルバイト以外のものを優先して記入すること。

7 趣味・特技

趣味・特技を記入すること。

8 抱 負

志望する理由等、船員として、積極的に取り組みたいことについて記入すること。

【受験票用はがき作成要領】

- 1 様式を点線で切り取り、日本郵便の通常はがきのあて名面、裏面にそれぞれ貼り付け、「氏名」を記入し、「試験区分」の該当する欄に○を記入すること。それ以外の欄には何も記入しないこと。
 - 2 はがきのあて名面には、自分の郵便番号・住所・氏名を記入すること。氏名の敬称は「様」のままで修正しないこと。
- ※ 郵便はがき発送料金が63円に改定されているので注意すること。
特に、62円の郵便はがきを使用する場合は不足分の1円切手を貼り付けること。

【写真票用紙作成要領】

写真は受験願書と同じ写真を貼付し、氏名、ふりがなを記入し、「試験区分」の該当する欄に○をすること。

書類の送付

出願に当たって送付すべきもの

- (a) 「受験願書No. 1・No 2」
太枠内に記入・記入もれがないか確認し、受験願書のNo 2左上の指定欄に糊付けし、受験願書のNo 1の裏面と紙の左上端が重なるように貼り合わせること。
- (b) 「受験票」（受験票用はがき）
日本郵便の通常はがき等に、「作成例」を参考にして様式を貼り付け、必要事項を記入すること。はがきに63円分の切手を貼付すること。
- (c) 「写真票」（出願から3か月以内に撮影したものを使用すること）
願書と同じ写真を貼付すること。
- (d) 「4級海技士（航海）以上の資格の写し」（※航海士を受験する者のみ）
- (e) ①在職証明書（別紙様式3）
②調理師免許もしくは栄養士免許もしくは船舶料理士免許の写し
※①または②は、司厨員を受験する者のみ（加点対象）
- (f) 「出願書類提出様式」（角形2号封筒）
角形2号封筒に「出願書類提出様式」を貼付し、
 - ①機関員または甲板員を希望する者は、上記(a)～(c)の書類を入れて送付する。
 - ②航海士を希望する者は、(a)～(d)の書類を入れて送付する。
 - ③司厨員を希望する者は、(e)があれば、(a)～(c)と(e)の書類を入れて送付する。

- 1 簡易書留または特定記録便にて郵送する。令和元年8月30日(金)当日消印有効である。
※ 受付最終日8月30日(金)郵送の際には速達にすること。
- 3 速達にする場合は、所要額の切手を貼り付け、封筒上端に「速達」と朱書きすること。
- 4 転居等で住所の変更が生じた場合は、郵便局に「転居届」を提出し、郵便物の転送依頼に関する手続を各自で行うこと（詳細は郵便局へ問い合わせること）。

令和元年度実施 沖縄県教育委員会職員（船員等）採用選考試験

<記入例>

No. 1

※ 太枠内を記入すること

1 試験 区分	試験区分	機関士	司厨員
	該当する欄に○を記入する		○

受験する職種を1つ選択すること

受験願書

記入しないこと

※受験番号

2 氏名・住所・連絡先	ふりがな	おきなわ たろう		性別	男・女	写真欄 ・3ヶ月以内に撮影したもの ・脱帽のもの （縦4cm×横3cm） ※写真の裏面に氏名を記入して貼付する 写真の貼付を忘れないこと
	氏名	沖縄太郎			男・女	
	生年月日	(昭和・平成) 58年4月3日				
	現住所	〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 アーバンパレット301				
	電話番号	090-1234-5678				
	受験票等送付先	〒同上		「現住所」と同じ場合、「同上」と記入すること		
3 学歴	最終学歴(現在)	国立・公立 私立・その他	守礼 短大・大学 学校・その他	水産学部 (学部・学科等)		
	卒業年月	(昭和・平成・令和)	17年3月	卒業・見込・中退		
	その前	国立・公立 私立・その他	沖縄県立○△水産高等学校	学校・高認・大検		
	卒業年月	(昭和・平成・令和)	13年3月	卒業・見込・中退		
4 免許・資格等	海技士免許 (取得済・見込み・なし)	海技士免許 (航海・機関・通信) (3) 級 (昭和・平成) 17年3月 取得・取得見込み ※ 選択肢のある()は、該当項目を○で囲み、右端の()には数字を記入してください。 ※ 取得済・見込みの者のみ 上記以外の船舶に関する免許・資格 → (2級小型船舶操縦士)				
	免許・業務従事経験 (司厨員のみ)	調理士	栄養士	船舶料理士	業務従事経験	※ 該当する項目の欄に○を記入してください。 ※ ○を記入した場合は、免許の写し又は在職証明書を提出してください。 ※ 取得済の者のみ
5 署名欄	記載したすべての事項が事実であり、地方公務員法第16条に該当しないことを誓う。					
	令和元年	8月15日	氏名	沖縄太郎		

願書の記載が全て完了し点検も終了日付とする

本人自筆で署名をする。捺印は必要なし。

※本人自筆

糊付け
 必要事項記入後、のりをつけて願書のNO.1の左肩裏面と貼り合わせる

沖縄県教育委員会職員（船員等）採用選考試験

受験願書

No. 2

氏名
 沖 縄 太 郎

※受験番号
 記入しないこと

- ※ 太枠内を記入すること
- ※ 「職歴」は、最新のものから上から順に記入すること
- ※ 司厨員の志願者は、加点に当たる在職証明書（別紙様式3）があれば、在職証明書の有無の欄に○を記入してください。

6	在 職 期 間	勤 務 先	職 名	在職証明の有無 (司厨員のみ)
職 歴	年 月～ 現 在	沖縄県立〇〇高等学校	船員	
	月	○△料理店	調理士	○
	月	○△小学校	教諭 支援員	
	月			
	月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			

現在までの職歴（最初の1行目）の入力は必須。特に定職に就いていない場合は、「無職」または「在宅」と記入すること。

手書き部分の書き間違いは二重線で消し、そばに訂正したものを記入すること

7 趣味・特技

8 ※志望する理由、動機を具体的に記入する
 抱負
 必ず記入すること。